



資料のダウンロードはこちらから→

- テーマ つい感情的に…注意のコツは？
- 対象 乳幼児～小学生（高学年）保護者
- 時間 45分
- ねらい 子どもとのコミュニケーションを振り返り、よりよい注意の仕方について考える。
- 準備物 筆記用具、名札（参加者、スタッフ）、ワークシート、時計（ストップウォッチ）、ルールカード（3枚）、アンケート

1 はじめに（2分）



セリフ
1

家庭教育や子育てでは、不安や悩みも多くなりがちですが、いろいろな人と話し合うことができれば、気持ちが楽になることもあると思います。今日の話合いがこれからのみなさんにとって、自身の考え方が広がるきっかけや仲間づくりにつながる時間になることを期待しています。今日は、「つい感情的に…注意のコツは？」をテーマに、子どもに思いが伝わる注意の仕方について、エピソードを参考に話し合ってみましょう。

2 自己紹介（アイスブレイク）（7分） ※他のアイスブレイクでも可（P78～P79）

セリフ
2

まずはじめに、自己紹介タイムです。その手順を説明します。ルールは前の紹介者につなげる（しりとり）形式で行います。例えば、「えひめ たろう」さんだったら、次の人は、「う」から始まるように、「うたが得意な いよ ひめこ」です。次の人は「こ」で始まるようにつなげていきます。1周終わったら逆回りするなど、時間いっぱいやってみましょう。では、みなさんグループの中央を向いてください。誕生日が最も早い人から時計回りをお願いします。それでは、始めてください。

アイスブレイク 6分

POINT 1周だけでなく、2周、3周、とすることで、更に雰囲気や和み、相互理解が深まります。

3 プログラムのルールを説明する。（1分）



セリフ
3

それでは、このプログラムのルールについて確認しておきます。（3つのルールを提示）ルールは3つあります。1つ目は「尊重」です。お互いが発言の時間を守り、他者の発言は最後まで聞きましょう。2つ目は「共感」です。自分とは違った考え方や感じ方が新たな気付きにつながります。批判せず、お互いの感じ方や考え方を認め合いましょう。3つ目は「守秘」です。みなさんが安心して話し合いができるように、ここで知り得た秘密や情報は持ち帰らないようにしましょう。ルールを守って、よりよい学びと交流を深めましょう。

POINT 3つのルールは、参加者がいつでも確認できるように、会場内に掲示しておきましょう。（上記2次元コードからダウンロード可）

4 エピソードを読んで、思ったことや考えたことを伝え合う。(15分)

セリフ
4

まずはじめにエピソードを読んで、アキコさんはどんなときに感情的に怒ってしまうのか、想像したことをワークシートに記入してみましょう。思いっただけ書いてください。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

セリフ
5

それでは、各グループでワークシートに記入したことを発表してください。発表は1人1分程度で、パスもOKです。質問なども自由に行って構いませんが、時間は8分間です。発表は、誕生日が最も遅い人から時計回りをお願いします。

グループ活動 8分

セリフ
6

みなさん、お互いの発表を聞き合って、どのような感想をもちましたか？子どもと真剣に向き合っていると、つい感情的になってしまうこともありますね。時には子どもへの注意の仕方を冷静に振り返ることも必要ですね。



POINT 資料「ちょこっと豆情報！」に関連した様々な情報を掲載しているので、紹介しておきましょう。

5 注意の仕方について、考えたことを話し合う。(17分)



セリフ
7

次に、子どもを注意するときに、どんなことを心がけているか、ご自身で工夫されていることやよいアイデアがあれば、その内容をワークシートに記入してください。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

セリフ
8

それでは、先ほどと同じように、各グループで発表してください。全員の発表が終わったら、どんな注意の仕方がよいか、自由に話し合ってみましょう。時間は8分間です。

グループ活動 8分

セリフ
9

何か「なるほど!」と思えた内容やアイデアは生まれましたでしょうか。それでは、2グループほど、話し合った内容をみなさんに伝えていただきます。よろしくをお願いします。(発表グループには事前に伝えておく)

全体交流 2分

6 学習のまとめを行う。(3分)

セリフ
10

いかがでしたか。分かってほしいことをきちんと伝えることは、とても難しいですが、あきらめずにしっかりと子どもと向き合っていきたいですね。最後に今日の時間を振り返って、ワークシートに感想をまとめてみましょう。

ワークシート記入 2分

セリフ
11

以上で、終了です。アンケートにご協力いただける方は、提出してからお帰りください。ありがとうございました。